

地球温暖化の防止にご協力を

これからの季節は、暖房器具等の使用により直接排出される二酸化炭素(CO²)が増加します。家庭でできる省エネなどの小さな心がけで、地球温暖化の防止に努めましょう。

地球温暖化のメカニズム

太陽からのエネルギーで地上が温まる

地上から放射される熱を温室効果ガス※が吸収・再放射して大気が温まる

※主な温室効果ガスの種類
二酸化炭素(CO²)、メタン
一酸化二窒素、代替フロン

温室効果ガスの濃度が上がると

温室効果がこれまでより強くなり、地上の温度が上昇する

これが地球温暖化です



家庭でできる省エネ対策デコ活

「脱炭素」につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動です。二酸化炭素(CO²)を減らす(DE)、脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。地球温暖化が原因と思われる気候変動は、深刻さを増しており、世界では、2050年に温室効果ガス排出ゼロ(カーボンニュートラル)を目指す機運が高まっています。日本でも2020(令和2)年10月に「2030年度に温室効果ガスを2013年度比で46%削減」「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を目指すことが宣言されました。目標達成に向け、住民・国・自治体・企業・団体等と連携して、デコ活動を推進していきます。

詳しくは、環境省デコ活ウェブサイトをご覧ください。

大口町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)における温室効果ガス排出量

大口町では、「大口町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、庁舎を始め公共施設から排出される温

	基準年度 (2013 年度)	実績年度 (2023 年度)	目標年度 (2030 年度)
温室効果ガス排出量	3,048t-CO2	2,104t-CO2	1,646t-CO2
削減率	—	△31%	△46%

室効果ガスの抑制に向けた取り組みをおこなっています。2023(令和5)年度における温室効果ガスの排出量(速報値)は上記のとおりです。

住宅用地球温暖化対策設置費補助金制度補助対象者

地球温暖化防止対策の一環として、次のいずれかに該当する方に補助金を交付します。

- (1) 町内において自らが所有し、かつ、居住する住宅を対象のシステムや単体設備を設置しようとする方
- (2) 町内において自らの居住の用に供するため新築する住宅にあわせて対象のシステムや単体設備を設置しようとする方
- (3) 町内において自ら居住するため建売住宅供給者から対象のシステムや単体設備付き新築住宅を購入しようとする方

※住宅が店舗等併用住宅の場合は、延べ床面積の2分の1以上を住宅の用に供するものに限る。

システム(次の組み合わせの設備を同時に設置する場合)

- 1 住宅用太陽光発電施設 + HEMS + 蓄電池…上限21万2800円
- 2 住宅用太陽光発電施設 + HEMS + V2H…上限11万2800円
- 3 住宅用太陽光発電施設 + HEMS + 高性能外皮等(ZEH)…上限16万2800円

4 住宅用太陽光発電施設＋HEMS＋断熱窓改修工事…上限12万2800円

単体設備

- 1 住宅用エネルギー管理システム（HEMS）…1基につき1万円
 - 2 家庭用燃料電池システム（エネファーム）…1基につき10万円
 - 3 定置用リチウムイオン蓄電システム（蓄電池）…1基につき15万円
 - 4 電気自動車等充給電設備（V2H）…1基につき5万円
 - 5 太陽熱利用システム…自然循環型1基につき1万6000円・強制循環型1基につき4万8000円
- ※ご検討される方は、他にも条件などありますので、必ず設置や購入前に環境対策室にお問い合わせください。

問合せ先
環境対策室 ☎95-1613

認知症予防研究の最先端のご紹介

近年、認知症における危険因子が明らかとなっており、多因子介入（運動や栄養指導、認知トレーニングなど組み合わせた方法）が認知症予防に有効である可能性が分かっています。愛知県大府市の国立長寿医療

研究センターで『J-MINT研究』がおこなわれ、高齢者の認知機能改善の効果を検証。その結果、一定条件で改善効果が認められました。

認知症予防教室のお知らせ

『J-MINT研究』で得られた成果をもとに、多因子介入プログラムを実施する教室を大口町で開催します。

対象者 町内にお住まいの60歳から80歳で、昨年度の特定健診・後期高齢者健診の結果から①または②に該当する方

- ① 血圧が正常より高い方
- ② 血糖値が正常より高い方

※対象の方には、11月下旬に説明会の案内を送付します。

参加方法

案内文が届いた対象者の方で、参加希望の方は、2月頃実施予定の説明会への参加が必要です。（事前申し込み制）

期間 令和8年4月から（週1回の予定）

内容 J-MINT研究から得られた成果をもとに、認知症予防に関する最新のエビデンスに基づいた多因子介入プログラムによる筋力トレーニング、音楽に合わせた高齢者向けのエアロビクス運動、認知トレーニング、認知症予防による生活習慣について学ぶグループワーク

参加料 無料

その他 本事業は、国立長寿医療研究センター（愛知県）との研究に関する連携協定に基づいておこなわれる研究事業になります。そのため、対象となる方は一定の基準により事前選定されます。

問合せ先 長寿ふくし課 ☎94-00051



生活習慣病の管理



運動指導

4つを組み合わせたプログラム



栄養指導



認知トレーニング



▲ J-MINT 研究の詳しい内容はこちら